

経営トップの「安全衛生方針」を示し 社内の安全衛生活動を推進しましょう！

労働災害防止対策や健康確保対策を推進するためには、経営トップの強いリーダーシップの下、全員が一丸となって、安全衛生活動に取り組むことが重要です。

まずは、経営トップ自らが安全衛生管理の最高責任者として、労働者の安全と健康確保が最優先である旨の安全衛生方針を示しましょう。

また、経営トップの「安全衛生方針」に沿った取組を労働者一人ひとりが「安全衛生宣言」し、それを日々実践することにより、労働災害撲滅への効果がより期待できます。

「安全衛生方針」「安全衛生宣言」で労使一丸となって労働災害の撲滅に取り組みましょう。

見本



策定日 令和 年 月 日
掲示日 令和 年 月 日

安全衛生方針

安全衛生活動は、企業経営の基盤であり、我が社で働く人及び社旗又は社のシンボルマーク地域社会の安全・健康に及ぼす影響を最小限となるよう企業活動の中で安全衛生管理を徹底し、自負できる職場を目指します。

安全衛生の基本方針

- 1 安全衛生関係法令及び社内基準を遵守し、より一層の安全衛生管理に努めます。
- 2 職場の危険有害要因の明確化と対策の優先度を定めるリスクアセスメントを実施し、「災害ゼロ」から「危険ゼロ」への安全で快適な職場づくりを推進します。
- 3 過重労働及びメンタルヘルスによる健康障害を防止するため、衛生管理体制の充実を図り、社員の健康確保対策を推進します。
- 4 全社員とのコミュニケーションを図り、全員参加の安全衛生活動を実行していきます。
- 5 社員教育及び社内広報活動を通じて、安全衛生意識の高揚に努めます。
- 6 安全衛生活動の実行に当たっては、適切な経営資源を投入し、効果的な改善を継続的に実施します。

会社名 株式会社
代表者 代表取締役 新見 太郎

「安全衛生方針」は、方針に沿って、職場全員で取り組むことが重要なので、一人ひとりが目にする状態にしましょう。また、HPなどを通じて対外的に公表することにより、社員の取り組みへの意識高揚、安全衛生活動に意欲がある事業場との社会的評価の上昇の効果も期待できます。

労働者一人ひとりが「安全衛生宣言」を示し 社内の安全衛生活動を推進しましょう！

近年、増加傾向にある行動災害（転倒災害、腰痛災害など）は、疾病、加齢などに伴う、筋力、バランス力、視力、敏捷性、認知機能などの心身機能の低下などの個人的要因も大きく関与しており、労働災害を撲滅するには、労働者ひとり一人が、職場の安全衛生活動に積極的に参加するとともに、事業場における取組や地域における取組を活用しながら、自身の心身の健康の維持・向上に努めていくことがとても重要となります。

経営トップが労働災害防止に対する明確な「安全衛生方針」を表明し、その方針に沿った取組を労働者一人ひとりが「安全衛生宣言」を表明し、それを日々実践することにより、より効果が期待できます。「安全衛生方針」「安全衛生宣言」で労使一丸となって労働災害の撲滅に取り組みましょう。

見本



私の安全衛生宣言

1. ライン清掃・調整時は「主電源のカット」と「操作禁止札の掲示」を徹底します。
2. 作業標準にない不具合が発生したら、自己判断せずに班長に対応の指示を仰ぎます。
3. 場内は、走らず、ながら歩きせずを守ります。
4. 会社のヘルスサポートサービスを活用し、身体機能維持、健康維持に努めます。

宣言日 令和 年 月 日

所属名 株式会社 工場

職氏名 製造第1班 高梁 太郎

「私の安全衛生宣言」は、労働者一人ひとりが、日々、取り組みを継続することが重要となりますので、宣言内容は、所属する職場の掲示板に掲示したり、カードにしたものを携帯したり、更衣室のロッカーに掲示したりと、それぞれの職場の状況に応じて、日々目にして意識するよう、工夫してみてください。